

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	来客数の動き	・郊外店の売上は体育大会、サッカー、野球などのイベント開催が多かったため、1割強の伸びをみせている。また、街なかの店はイベントが少ないにもかかわらず、背後に繁華街があるため最近、週末を中心に急激に伸びている。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上客数が今年初めて月間で前年の100%を維持できた。ただし、客の活発な動きは店頭の商品で多く見られる。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今の季節に「すぐ持てる、すぐ着られる、すぐ履ける」などのファッション商品の展開を強化したため、この部門では前年を数パーセント上回った。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価とも順調に回復している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近くのコンビニが2店閉店したため、当店の売上は前年比10%増加した。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの売上は例年を上回った。商店街を歩く人の買物袋も多く見受けられ、客に買う気が感じられる。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・車の需要期のピークを過ぎ、またモデルチェンジが無いにもかかわらず、販売台数はわずかながら増加している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・土地や中古住宅が動き出した。新築住宅では大型、中型が減少しているが、2000～2200万円クラスが少し動いている。また、各社はサイクルが早く、生産性の良い住宅リフォームにも積極的に取り組んでいる。賃貸住宅の入居率もよい。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示会場への来場者に動きが感じられる。	
	変わらない	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・婦人服ではカジュアル商品は前年を下回っていないが、この時期に動くはずのワンピースの動きが鈍く、客単価が低下している。新生活対応の家具などは早い段階で動きが止まり、大型家具が動かないため、この部門の単価が低下している。
百貨店（営業担当）		お客様の様子	・ゴールデンウィークは天候に恵まれ、旅行や行楽に着ていくカジュアルウェアが好調であった。これに付随して帽子、アクセサリ、バッグなどの小物の雑貨もよく売れた。婦人服のフェアは明るいカラーの夏物の投入により、前半の売上は前年比105%と好調に推移したが、後半から客足がぼったりと止まり、5月全体で見ると前年並みであった。	
スーパー（総務担当）		単価の動き	・来客数は横ばいであるが、ゴールデンウィークでは特に客単価が思うように上がらなかった。	
スーパー（副店長）		単価の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は消費税の総額表示の1年後でありながら、前年比5%前後下回っている。	
家電量販店（経営者）		販売量の動き	・既存店の売上はほぼ前年並みとなっており、商品の動きも2、3か月間は特に変わっていない。引き続き、薄型大画面テレビは好調であるが、パソコン関連は低調である。エアコンも暑い日が続かないため動きが悪い。	
乗用車販売店（経理担当）		販売量の動き	・県内の業界動向は販売台数で前年を上回っており、当社においても台数は確保している。しかし、高額車両の販売の停滞や小型車へのシフトにより1台当たり単価が低下し、収益ベースでは前年比マイナスとなった。	
高級レストラン（スタッフ）		販売量の動き	・ゴールデンウィークの集客は例年並みであったが、連休明けの1週間が非常に悪く、5月全体では例年をわずかに下回った。	
観光型旅館（スタッフ）		来客数の動き	・宿泊客数で前年を上回ることがなかなかできない。	

	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・レストランウェディングは客単価の上昇により増収となっているが、レストランの通常営業や一般宴会の利用客数の減少、婚礼件数の大幅ダウン等で全体では大幅減収となる見通しである。3か月前と比べると、レストランウェディングの受注件数が増加している。	
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・中国、韓国のデモの影響で海外旅行が激減している。県内の旅行業者も同様である。	
	競輪場(職員)	単価の動き	・売上はやや減少したが、入場者数は若干増加している。	
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・見積依頼が増加しているが、決定までに非常に時間がかかる。競争見積も多くなった。	
	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・受注が少なく、競争が激しい。また、展示場への来場者が少ない。	
やや悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・平日の来街客数が減少傾向にある。	
	スーパー(店長)	来客数の動き	・最近、安い店を回ったり、バーゲン商品だけを目当てに来店するなどの客の動きがみられる。これを反映してここ2、3か月間の競合店のチラシは非常に厳しい価格を打ち出している。	
	乗用車販売店 (経営者)	単価の動き	・低価格やお買得限定などのメリットを付けないと、引き合いが来ない傾向がますます強くなっている。	
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・イベントの来客数が減少気味である。	
	住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・来客数が少なく、なかなか成約に結び付かない状況が続いている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは長かったせいか、客の出費も多かった。例年は休み明けの1週間だけ悪い状態であるが、今年は月末になるまで夜の街に人出が少なく、売上は伸びなかった。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず夜は客待ちのタクシーがあふれている。また、ホテルに宿泊するビジネス客が少ない。	
悪く なっている	スナック(経営者)	来客数の動き	・今月は来客数が少なく、年間を通じて最低の売上となった。婦人用品小売業の客からも「来客数が少なく、このような事態は初めて」という声が聞かれた。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・愛知万博や中部国際空港のオープンにより他地域や海外旅行に客が流れ、団体、グループ、個人共に利用客が減少し、前年比で10%近くマイナスになっている。	
	パチンコ店(店員)	販売量の動き	・売上が前年比2割減となっている。人気台が最近登場していないため、現状の台に客が飽きている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業 (企画担当)	受注量や販売量の動き	・1キロ当たりの販売単価が高い新商品の受注量、販売量が既存商材以上に増加している。価格帯が上向いていても付加価値が消費者に認められれば、数量は伸びる。
		司法書士	取引先の様子	・不動産取引分野の取扱件数が増加している。
	変わらない	プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・受注量のロットが相変わらず小さい。
		電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・国内では、デジタル家電、移動体通信のいずれの分野においても、新しいヒット商品がなく、新規受注に結びつかない。海外では在庫調整がまだ終わっていない。
		建設業(総務担当)	競争相手の様子	・依然として破格の見積りや入札提出業者が散見され、採算を確保しての受注機会は少なくなっている。
		輸送業(配車担当)	取引先の様子	・荷量、価格共に安定した動きで、前年並みに推移している。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・携帯電話の販売台数や月額使用料の変動がほとんどない。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は若干上昇傾向であるが、低価格化の流れは止まらず、粗利が確保できない。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・工作機械や電子部品の製造業では依然として出荷量が順調に推移している。また、これらの工場に人材を送り込んでいる人材派遣業の受注も順調である。
やや悪く なっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・産地全体で受注の確保が非常に難しくなっている。加えて、ますます期近の商売が増え、先行き不透明感がさらに強まっている。	

		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・物量は前年同月比で約1割落ち込んでいる。
	悪くなっている	建設業（経営者）	取引先の様子	・5月末に基礎工事の専門業者が破産手続きに入り、また老舗の建設会社が近く廃業するとの観測もある。いよいよ、地元において建設崩壊が始まった。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・IT関連製造業では正社員、派遣社員を問わず、採用意欲がおう盛である。ただし、求められる人材は依然として確保が厳しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業や製造業の一部で求人数が前年に比べて増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数では運輸・通信業が前年同期比89.9%増、卸・小売業が同37.5%増と、それぞれ5か月連続で前年を上回っている。一方、電気機械・一般機械・金属製品製造業はアップダウンが激しく、安定した動きになっていない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・人材登録希望者数に大きな変化はない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求職者数の動き	・学生の就職活動は例年と変わらない。
	やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-	